

## 01 地域経済の持続的発展



- 人材紹介サービス事業者と業務提携し地域の人手不足対策を支援する体制を構築
- 「新型コロナウイルス感染症」に係る融資相談窓口の設置

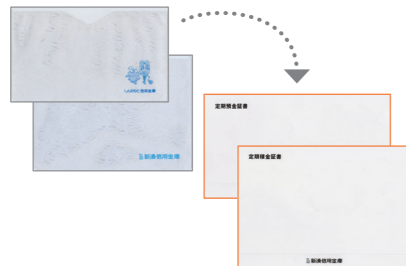
- インキュベーション施設を活用した創業支援  
～ミライズIMIZU～  
〈入居者セミナー〉隔月で開催  
〈入居者企画イベント〉入居者同士の情報交流会開催  
〈起業相談業務〉将来起業したいと考えている方、起業に興味がある方、第二創業を考えている方を対象に毎月第2火曜日開催



## 02 地域社会への貢献



- 定期預金証書、定期積金証書のカバーをビニール製から紙製へ切替



- 役職員による店舗周辺清掃奉仕活動を実施



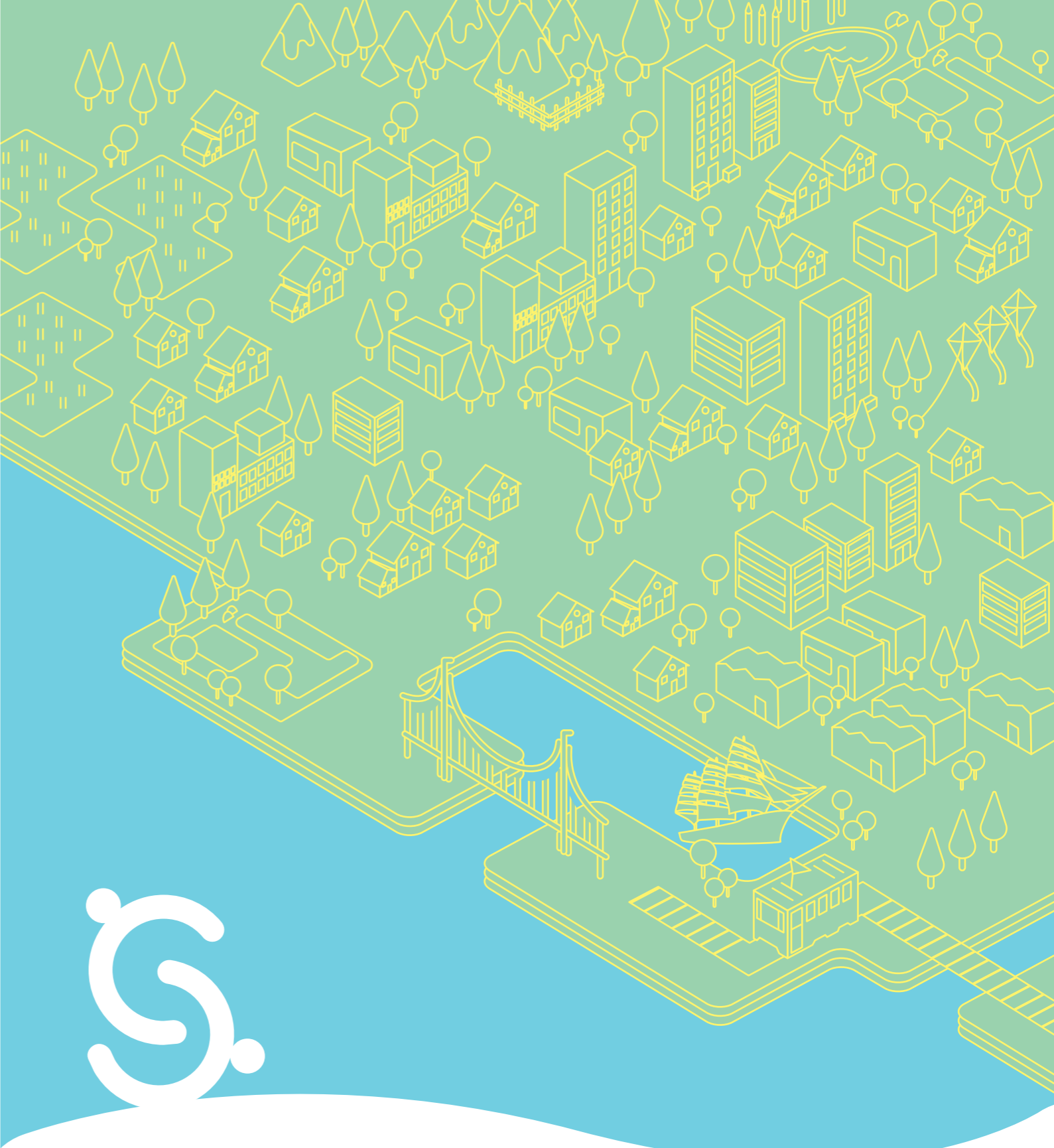
- 「あったか家族応援定期」取扱開始  
定期預金総額の0.01%相当額(30万円)を射水市教育委員会へ寄付



## 03 人材育成の強化



- 職員のコンプライアンス知識向上維持のため全体研修を実施
- 職員の生命保険募集人のスキル向上のため庫内教育研修実施
- 補助金申請支援業務習得のため中小企業診断士事務所に職員を派遣
- 信金中央金庫主催の「新型コロナウイルス対策経営改善サポートプログラム研修」参加



### トピックス

#### ■ 使用済み切手等をボランティア団体に寄贈(2021.6.9)

地域の方々のご協力を得て収集した使用済み切手などを県内7金庫共同で生涯学習団体「スコレ家庭教育振興協会北陸スクール」に寄贈しました。毎年6月15日の「信用金庫の日」に合わせ、社会貢献活動の一環で収集品を寄贈しています。

#### ■ 県内5金庫業務共同運用(2021.6.14)

県内5金庫で、書類の保管業務など一部業務の共同化を始めました。事務処理の効率化を図るため業務体制を構築しました。

#### ■ 第98期通常総代会開催(2021.6.18)

当金庫本店3階大会議室において、第98期通常総代会を開催し、以下の議案が原案通り承認可決されました。

- 〈報告事項〉1.第98期(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件  
2.出資証券のペーパーレス化(不発行)の件
- 〈決議事項〉第1号議案 剰余金処分案承認の件  
第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件  
第3号議案 理事7名選任の件  
第4号議案 監事3名選任の件  
第5号議案 退任理事及び退任監事に対する退職慰労金贈呈の件  
第6号議案 総代候補者選考委員15名選任の件

# 2021 REPORT

## 新湊信用金庫 上半期ディスクロージャー誌 (2021年4月1日～2021年9月30日)

- 本店営業部** 射水市中新湊12番20号 TEL.0766-82-8611
- 中曽根支店** 高岡市中曽根325番1 TEL.0766-82-8622
- 西部支店** 射水市本町2丁目2番45号 TEL.0766-82-8633
- 高岡支店** 高岡市新成町1番38号 TEL.0766-22-5561
- 富山支店** 富山市新根塚町2-3-3 TEL.076-421-3700
- 歌の森支店** 射水市戸破1621番地 TEL.0766-56-8670
- 大門支店** 射水市戸破1621番地 TEL.0766-53-5558



## 預金・貸出金の状況

令和3年9月末の預金は、対前期33億4百万円増加し883億80百万円となりました。また、貸出金は対前期7億41百万円減少し230億76百万円となりました。

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	増減率
預 金 残 高	88,380	85,076	3.88%
貸 出 金 残 高	23,076	23,818	△3.11%

## 貸出金の業種別内訳

(単位:百万円、構成比:%)

業 種 別	令和3年9月末			令和3年3月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	49	1,792	7.76	54	1,948	8.17
農 業、林 業	-	-	-	1	5	0.02
漁 業	3	315	1.36	3	320	1.34
建 設 業	68	1,322	5.72	70	1,284	5.39
電気・ガス・熱供給・水道業	1	212	0.91	1	221	0.92
情 報 通 信 業	2	83	0.35	2	93	0.39
運 輸 業、郵 便 業	17	910	3.94	17	834	3.50
卸 売 業、小 売 業	100	2,439	10.56	103	2,574	10.80
金 融 業、保 険 業	6	2,220	9.62	6	2,220	9.32
不 動 産 業	49	3,193	13.83	46	2,993	12.56
学術研究、専門・技術サービス業	3	50	0.21	3	55	0.23
飲 食 業	32	369	1.59	32	380	1.59
生活関連サービス業、娯楽業	20	321	1.39	20	345	1.44
教 育、学 習 支 援 業	2	12	0.05	1	6	0.02
医 療、福 祉	12	485	2.10	13	510	2.14
そ の 他 の サ ー ビ ス	52	828	3.58	48	810	3.40
小 計	416	14,557	63.08	420	14,602	61.30
国・地方公共団体等	4	3,506	15.19	5	4,006	16.81
個 人	1,409	5,012	21.71	1,455	5,209	21.87
合 計	1,829	23,076	100.00	1,880	23,818	100.00

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

## 自己資本比率の状況

金融機関の安全性や健全性を示す自己資本比率は17.83%となりました。なお、この比率は国内基準の4%を大きく上回っており、財務体質の健全性を維持しております。

なお、令和3年3月末の自己資本比率に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

(単位:百万円)

バ ー ゼ ル III 基 準	令和3年9月末	令和3年3月末	
		誤	正
自 己 資 本 比 率	17.83%	16.89%	17.87%
自 己 資 本 額	6,016	5,993	5,993
コア資本に係る基礎項目	6,020	5,998	5,998
コア資本に係る調整項目	3	4	4
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等	33,743	35,481	33,528

## 不良債権の状況

金融再生法ベースの不良債権額は、令和3年度上半期で40百万円増加し10億58百万円となりました。また、不良債権比率は前期末に比べて0.31%増加し4.57%となりました。

### 金融再生法ベースの債務者区分による開示

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	増減額
金融再生法ベース不良債権額 合計	1,058	1,017	40
破産更生債権及びこれに準ずる債権	948	903	45
危 険 債 権	94	98	△4
要 管 理 債 権	16	16	△0
正 常 債 権	22,077	22,853	△775
合 計	23,136	23,870	△734
不 良 債 権 比 率	4.57%	4.26%	0.31%

(注)上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計法について以下の点につき年度末計数と異なります。

- 令和3年9月末の「破産更生債権及びこれに準ずる債権」、「危険債権」の金額は、3月末時点における債務者区分残高を前提とし、9月末までに倒産、不渡り等の客観的事実並びに債務者区分の引下げがあった債務者について当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更と認められる額を反映しております。この場合、債務者区分が下方に変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、又は「危険債権」を減額し、「破産更生債権及びこれに準ずる債権」を加算しております。
- 令和3年9月末の「要管理債権」の金額は、3月末時点における債務者区分残高を前提とし、4月～9月までの間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3カ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、「破産更生債権及びこれに準ずる債権」、「危険債権」へ変更になった金額を減算しております。

## 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	令和3年9月末				令和3年3月末				
	帳簿価格	評価差額		帳簿価格	評価差額				
		うち益	うち損		うち益	うち損			
満期保有目的の債券	2,162	36	40	3	2,683	29	38	9	
内 訳	債 券	762	13	13	0	1,283	16	16	0
	そ の 他	1,400	22	26	3	1,400	13	22	9

	令和3年9月末				令和3年3月末				
	時 価	評価差額		時 価	評価差額				
		うち益	うち損		うち益	うち損			
その他有価証券	41,401	536	822	286	41,133	384	757	372	
内 訳	株 式	181	△19	0	19	160	△10	3	13
	債 券	29,540	557	588	30	29,371	475	541	66
	そ の 他	11,679	△1	234	235	11,601	△79	212	292

(注)令和3年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、令和3年9月末時点の帳簿価額(償却原価法適用前、減損処理後)と時価の差額を計上しております。

## 損益の状況

業務収益は46百万円減少しましたが業務費用も11百万円減少したことから、業務純益は55百万円となりました。また、経常利益は38百万円であり、法人税等を差し引いた当期純利益は28百万円となりました。

(単位:千円)

	令和3年9月末	令和2年9月末	増減額
業 務 純 益	55,767	90,832	△35,064
実 質 業 務 純 益	54,238	91,162	△36,923
コ ア 業 務 純 益	46,770	91,225	△44,455
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	46,770	44,095	2,674
経 常 利 益	38,300	70,772	△32,472
当 期 純 利 益	28,015	52,037	△24,021